

ホルモン投与によるイシガレイの採卵期間

福島県水産種苗研究所

1 部門名

水産業—種苗研究(基礎)—種苗生産、イシガレイ

2 担当者

實松敦之・泉茂彦

3 要旨

ホシガレイ種苗生産で実績のある黄体形成ホルモン放出ホルモンのアナログ(LHRHa)を用いて採卵を行ったところ、イシガレイでも集中的に安定的な採卵が可能となった。一方、どの程度の期間にわたって採卵できるかは種苗生産では重要な問題であるので、これを確認した。

(1) 試験に供した親魚

雌 12月下旬に請戸漁港に水揚げされ、水揚げ時に排卵に至らず成熟していた個体。
雄 12月下旬に請戸漁港に水揚げされた個体

(2) LHRHaの投与方法

投与量 体重1kgあたり40 μ g
投与時期 1、2、3、4月の月上旬に各1回

(3) 採卵方法など

採卵頻度 週1回
採卵方法 搾出法
媒精方法 乾導法
卵の観察 500mlビーカーに100粒の浮上卵を収容して12 $^{\circ}$ Cでふ化まで飼育

(4) 測定項目

魚体重、採卵重量、採卵数、浮上卵率、ふ化率

(5) 結果

4月のLHRHa投与でも卵は十分に得られたが、1～3月の卵に比べてふ化率は低下し、奇形率が上昇した。4月投与で得られるふ化仔魚は種苗生産に適さないが、3月上旬投与までは生産に利用できる可能性がある。

4 その他の資料等

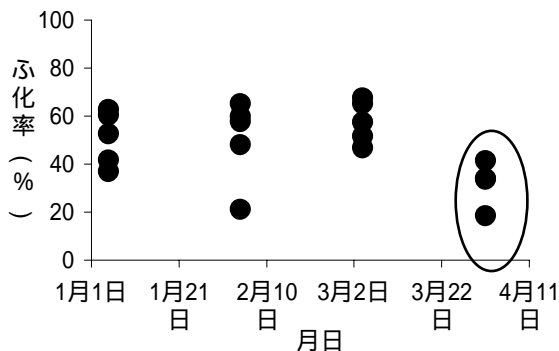


図 LHRHa投与時期と浮上卵からのふ化率

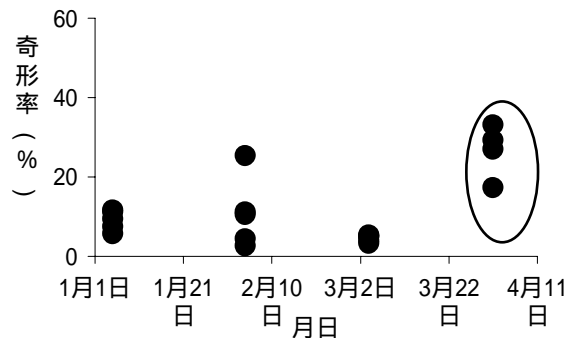


図 LHRHa投与時期とふ化仔魚の畸形率